



太田 哲也
公明党市議員

三河大島及び小島・ 仏島について

問 三河大島について、観光資源、環境資源、地域資源として、現在市はどのように位置づけているのか伺う。

答 観光資源としては、潮干狩りや海水浴場として利用されており、環境資源としては豊かな自然環境を有し、その風光明媚な景観と多様な生態系は、本市が誇るべきものである。地域資源としては、地域住民がイベントや清掃に訪れており、活動を通じて地域を愛する心が養われていると考えている。

問 小島・仏島の植生、鳥類、昆虫、海藻、潮間帯生物、魚介類などの調査をこれまでに行ったことがあるのか伺う。

答 本市としては、小



三河大島

島・仏島について、近年、調査を行ったことはないが、今後、ネイチャーポジティブの取組を進めるに当たり、調査の必要性について検討をしたい。

問 大嶋ナメクジウオ生息地について、市として、現在どのような保全状況、調査状況、課題を把握しているのか伺う。

答 平成28年度の調査では生息は確認できなかったが、近年は水質などの生息環境が以前と比較して改善できているため発見できる見込みがあると報告を受けている。可能であれば令和9年度又は10年度に調査を行いたい。



八田 寿人
自民党市議員
・無所属の会

令和7年度漏水による 節水対策等の報告

問 今回発生した漏水の状況を伺う。

答 宇連ダムの貯水量が0%になったため、令和8年3月21日から最も厳しい節水率30%が適用された。佐久間ダムからの緊急導水や、幸田蒲郡線による送水などが実施された。工事中の設楽ダム早期完成を願っている。

問 雨水タンク及び協力井戸の活用内容を把握しているか。

答 把握していない。

問 市内各地の井戸の状況調査は実施したか。

答 渇水対策協力井戸の調査は実施していない。今回の渇水によるものではないが、6年に災害時生活用水協力井戸は現況調査を実施している。

問 西三河地区からの

送水の有用性が明らかになった。市独自の水源を確保すべきではないか。

答 本市は自己水源を持たないため、今回のような大規模渇水が発生した際の供給能力に課題がある。運用費用や水質、専門人材の確保など課題が想定されるため、近隣自治体の状況等を参考に研究していく。

問 協力井戸の一本化における具体的なスケジュールを伺う。

答 夏までに聞き取りや内容を精査し、今年中に要綱の見直しを行いたい。次年度から新たな制度を開始できるように進めていく。



鈴木 将浩
自民党市議員
・無所属の会

地域課題解決事業 について

問 民間と連携して解決することを伺う。

答 民間事業者のノウハウや技術・発想を活用した連携は重要であると認識している。

問 地域課題解決のため民間提案制度で各課の課題募集や企業が提案できるテーマ検討は。

答 各課からの課題募集や市内企業も提案できるテーマ設定など制度の活用につながる取組を検討する。

問 地域課題・各種募集を集約してはどうか。

答 事業者の参画促進や連携強化につながるため、他自治体の事例を研究していく。

問 地域課題解決に関して、事業者への支援を考えてはどうか。

答 既存制度の活用状況を分析し、効果的な

支援策を検討していく。デジタル人材の確保・育成について

問 ICT支援員の配置・運用の見直しは。

答 支援員の得意分野を活かした配置換えを実施した。今後も運用改善に努める。

問 デジタルの専門的な知見を有する人材はどの程度いるか。

答 集計はしていないが、経験者がいることは把握しており、人材把握に努める。

問 デジタルに関する特化型の人材育成を検討してはどうか。

答 専門性を持つ人材育成の必要性は認識しており研究していく。

